



【出席報告】

・会員数 54名  
・当日出席率 100%  
・出席数 54名  
・前々回修正出席率 96.00%  
・欠席数 0名

<欠席会員>

〔免除会員〕

<3/7 欠席補填> (3/3 水源の森)久米、八木(正) (2/25 今治北) 別府、木村、小堀、西本、大澤、田崎、山本  
(3/4 今治北)原、片山、冠、楠橋

3月28日(木)は振替休会

次回例会は、4月4日(木)花見夜間家族例会

インターシティ・ミーティング

ホストクラブ:今治北ロータリークラブ 於:今治国際ホテル

◆3月23日(土)、今治国際ホテルにてRI第2670地区愛媛第1分区インターシティ・ミーティングが開催されました。ホストクラブである今治北RCの木下会長による点鐘のあと、藤野IM実行委員長による開会の挨拶があり、再び登壇した木下会長が歓迎の言葉を述べられました。来賓やクラブ紹介に続いて桑原征一ガバナーが「今いちどロータリーの心と原点に思いを感じ、その上で判断して欲しい」と挨拶。壇上の配置変更の後、八塚誠一ガバナー補佐より今回のテーマに関する趣意説明があり、基調講演が始まりました。▼基調講演の講師は福岡西RC前会長の廣畑富雄2700地区パストガバナー。氏の著書『ロータリーの心と原点 基本に返ろう』が今回のテーマであり、「激動の国際ロータリーを背景に」を副題にしています。2010年に出版された同著は昨年で1万5千冊を売り上げ、絶版予定でしたが、RIがあまりに変わるので「日本と海外のロータリーの乖離:体験をもとにした考察」の一章を書き加え、改訂第8版が発売中です。今回はこの章を中心に講演されました。3年前の規定審議会で月2回を是とする決議がなされ、例会開催の意義が揺らぐなど、長年の伝統をどんどん変えようとするRI。これに対し日本のロータリーは伝統に忠実です。しかし氏は自身の2700地区が会員減少率最小なのを例に挙げ、ロータリーの良き伝統を守ることがクラブの充につながる、今の慈善団体化したRIでは先が不安だとお話しされました。▼続いて行われたフォーラムは八塚ガバナー補佐が司会、パネリストに廣畑氏と安藤賢一2670地区代表幹事を迎え、各クラブからの質問に答える形式で行われました。当クラブからは矢野暢生会長が「後継者不足で廃業する企業も多くなる環境下で、いかに会員増強の努力をするべきか」質問。安藤氏から所属する新居浜RCでは職業分類の空位を埋めようと退会者の子弟に積極的な声かけを行っている、会の特性を生かした会員増強をすべき、団体間で軋轢(あつれき)があるような会員増強はするべきでないと思う、と回答をいただいています。最後に全員で「手に手つないで」を合唱し、散会しました。



次回例会(4月4日)

【花見夜間家族例会】

日時: 2019年4月4日(木) 18:30~

場所: マリエール今治 (郷本町1-1-35 TEL 25-8888)